



おなづか



<http://www.ota-school.ed.jp/onazuka-es/>

発行者 大田区立おなづか小学校 校長 酒井 敬子

すてきな本との出会いを

校長 酒井 敬子

「体育科の〇〇さーん。（私の旧姓）」
大学時代、同じ国語科の仲間から私はこう呼ばれていました。部活動に夢中で、体育着で体育棟をうろうろしていたからかもしれません。物静かで知的な雰囲気メンバーとは若干違っていたのでしょう。

「読書家」とは到底言えませんが、本を読むことは昔から好きでした。新しい知識を吸収するために、ときに苦しい現実から逃避するために…。うまく自分をコントロールできず、ベッドの中で身を縮めながら読んだ詩集の中に「自分の感受性くらい（茨木のりこ：作）」という作品を見つけたときには、自分の未熟さを思い知らされるとともに、共感してくれる人がいるという安心感を覚えたものです。

令和3年8月に国立青少年教育振興機構がまとめた「子どもの頃の読書活動の効果に関する調査研究」に、興味深い結果が載っています。「子どもの頃の読書量が多い人は、そうでない人よりも『自己理解力（自己肯定感を含む）』『批判的思考力（コミュニケーション力を含む）』『主体的行動力』が高い。」というものです。

若者の読書離れが言われて久しいですが、読書からは、テレビやインターネットのように簡単に情報は受け取れません。自分で「読もう！」という意思をもち、難解な文章に挫けそうになりながらも読み進めることで、最終ページにたどり着きます。便利な情報ツールの濫用は、主体的に取り組む力や気長に取り組む力、苦しくても諦めない心を奪っているのかもしれません。

本校では、10月7日～16日まで「家読（うちどく）週間」でした。ご家庭でコミュニケーションを深めながら読書をしてくださったことと思います。心の琴線に触れる本は人それぞれ違いますが、ご参考までに私が大好きな絵本を何冊か紹介します。もし機会がありましたら、手に取ってみてください。

- ◇「ぶたばあちゃん」マーガレット・ワイルド作
- ◇「ぼくはなきました」くすのき しげのり作
- ◇「大きな木」シェル・シルヴァンスタイン作
- ◇「悲しい本」マイケル・ローゼン作

どうか子どもたちが、人生の道しるべとなるような心動かされる本と出会えますように。

11月の行事

日	曜	行 事
1	火	全学年5時間授業
2	水	特別時程
3	木	文化の日
4	金	全校パトロール（6年）
7	月	委員会活動 避難訓練（煙体験）
8	火	
9	水	午前授業
10	木	安全指導
11	金	展覧会1日目（児童鑑賞日）
12	土	展覧会2日目（保護者鑑賞日） 特別時程 5時間授業 給食あり 補習④
14	月	振替休業日
15	火	
16	水	午前授業
17	木	午前授業 就学時健康診断
18	金	教育実習終
21	月	クラブ活動③ 色覚検査（4-1）
22	火	社会科見学（5年） 色覚検査（4-1）
23	水	勤労感謝の日
24	木	蓮沼中学校見学会（6年） 色覚検査（4-2） 校外学習（消防署）（3年）
25	金	色覚検査（4-2）
28	月	下校指導（1年）
29	火	薬物乱用防止教室（6年）
30	水	午前授業

スクールカウンセラー出勤日

*毎週月曜日・毎週金曜日 変更することがあります。

展覧会について

図工担当

11日（金）と12日（土）に展覧会を実施します。一昨年に行われた展覧会に引き続き、保護者の皆様には感染症対策にご協力いただきながらの開催となります。

子どもたちは、展覧会に向けて一生懸命作品づくりに取り組んできました。学習の成果に加え、そんな様子も想像しながら鑑賞いただければと思います。

図工の活動では、どの子もいろいろなことを感じ、考え、試行錯誤を繰り返しながら表現活動を行っています。お子さんの作品だけでなく、学年の成長や周りの作品から、みんな違った個性をもっていて、どの作品も素晴らしい、そんな様子を感じていただけると幸いです。

給食費の引き落としは11月7日（月）です。期日までに共立信用組合へご入金をお願いいたします。